

100mm

C'

暮らしの知恵

一般的には「てるてる坊主」で通じますが地域によっては「てれて坊主」「てれ坊主」「てるてる法師」「日和坊主」など呼び方はさまざま。

逆さ坊主もある？

本来は晴天を願って吊るす、てるてる坊主を上下逆さまに吊るすと「逆さ坊主」となり、意味合いも逆転！晴天のおまじないではなく、雨乞いのおまじないになります。

通常のてるてる坊主同様、地域によって「逆さ坊主」「降れ降れ坊主」「雨雨坊主」「るてる坊主」などと呼び方は様々にあります。

中国の風習が元という説

てるてる坊主は中国で行われている伝説上の女性「掃晴娘(そうせいじょう)」を象った人形を吊るし、晴天を願う風習に由来していま

意外な歴史も!? てるてる坊主の由来とは…

す。掃晴娘は、長雨を止めるために祈り、雨の神である龍神や東海竜王の妃になることで雨を止ませたとされる少女がモデルです。

この掃晴娘の風習が平安時代に日本に伝わり、日本風に変化したのが「てるてる坊主」の始まりといわれています。

お坊さんの言い伝え

童謡『てるてる坊主』の歌詞につながるのではないかとされているのが、この話。

降り続く雨に困っていた殿様が、お経を唱えると必ず晴れることで有名なお坊さんに雨を止ませてほしいとお願いしました。

お坊さんは殿様の依頼を受け一生懸命お経を唱えましたが、翌日も雨は止まず降り続

100mm

B'



きます。これに腹を立てた殿様は、お坊さんの首をはねました。そして、お坊さんの首を白い布に包んで吊るしたところ、翌日には見事に晴天に変わったそうです。

実は童謡『てるてる坊主』の3番では…
てるてる坊主♪てる坊主♪あした天気にして
おくれ♪それでも曇って泣いてたら♪そなたの
首をちょん切るぞ

と、怖い歌詞になっています。昔話や童謡でたまにある、実は少しホラーだったパターンだったんですね。

遠足や運動会の前など、絶対に晴れてほしい時のおまじないの「てるてる坊主」。効果の程はさておき、子どもにとっては楽しいイベントの一つですよ。

97mm (内側に折り込む面)

A'

カラダすっきり!
イキイキ!

健康サプリ

みんなに嬉しい「さくらんぼ」の栄養

さくらんぼは内臓脂肪が気になる方に、とてもおすすめです。豊富に含まれる「アントシアニン」という成分が、内臓脂肪の蓄積を抑えることがわかっています。



さらに、便秘の予防・改善をうながす成分「ソルビトール」や体内の過剰な「ナトリウム(塩分)」を汗や尿として排出しやすくする「カリウム」がしっかり摂れるので、デトックスやむくみの解消に役立ちます。

また、抗酸化力をもつ「アントシアニン」をはじめとするポリフェノールも含まれているので、老化対策のためにもおすすめです。

なお、国産のさくらんぼとアメリカンチェリーの違いですが、前述した「ポリフェノール」と「カリウム」の含有量が異なります。どちらもアメリカンチェリーの方が多く含まれています。さくらんぼを購入する際の参考にしてみてください。

新年度入館生を募集しております、気軽にご連絡下さい!



副館長 浅川 正堂



館長 浅川 裕彦
雙柳館 浅川道場



道場HPは
コチラ→



雙柳館 浅川道場
岐阜市野一色 4-8-1

お問い合わせは

058-247-3676

磨き合い 育ち合い
子どもの心と身体との健康的な成長には、群れて遊ぶことが重要であるという記事が新聞に掲載されていました。私たち大人は、多くの仲間と一緒に遊ぶなかで、自然に友達との関わり方や年上や年下への接し方を身につけてきたと思います。しかし現在の子どもを取り巻く社会環境では、意図的にそうした場を作らなければならぬと感じた次第です。

先日の試合稽古でAが「やっっ!」と道場に響き渡る声を出せば、それを受けたBが「やっっ!」とそれ以上の気と声で応え、AとBの気魄と技がぶつかり合いました。武道、あるいは日本の文化における「残心」の姿が、心得のある方にとっては、美しさや強さに映ると思いますが、剣道を初めて見る方や保護者には、気魄と残心の姿が、怖さ、あるいは「あの子たち大丈夫かしら」と心配の気持ちを抱かせたかもしれせん。

剣道は武道であり、対人競技です。ですから体と体がぶつかり合い、気持ちと気持ちがぶつかり合います。その時に、自分を通す子がいれば、譲る子、様子を見てから決める子と様々な性格・個性が現れます。私たち指導者はそうした二人一人の性格・個性の理解に努めながらも、現在の子どもたちには、社会性を育むと共に、「群れ」においても自分の考えを伝える「感性・表現力と気力」を育てなくてはなりません。私は、精神のみによる根性論には否定的です。しかし、気力無くして、自己表現はできないと思います。老若男女に関わらず、いつ何時でも自分の考えに迷いが無いことはあり得ません。それでも社会に出れば自分の足で一歩前に進まなくてはならない事が多いです。そこで自分と向き合い、自らの意思で一歩前にすすめる「気力・根性」は必要です。

試合稽古を終えたAとBは礼をすませ、面をとると、不思議なくらいに笑顔で話をしていました。何を話していたのでしょうか。今日の稽古の事でしようか、それとも何か別のことでしょうか、いずれにしても何とも微笑ましい姿でした。道場では、剣道を通して、子どもたちが互いに「磨き合い 育ち合い」、丈夫に、そして豊かに成長します。

子どもの汗と笑顔は日本の宝 道

私、登田が通う剣道の師匠に、日ごろ子供達へお話ししている徒然を書いて頂いています。

磨き合い 育ち合い
子どもの心と身体との健康的な成長には、群れて遊ぶことが重要であるという記事が新聞に掲載されていました。私たち大人は、多くの仲間と一緒に遊ぶなかで、自然に友達との関わり方や年上や年下への接し方を身につけてきたと思います。しかし現在の子どもを取り巻く社会環境では、意図的にそうした場を作らなければならぬと感じた次第です。